



平成28年に記念の年を迎える  
主なゆかりの文化人

- 會津八一——歌人・書家 [1881-1956] 没後60年  
 跡見花蹊——画家・教育者 [1840-1926] 没後90年  
 石川啄木——歌人・詩人 [1886-1912] 生誕130年  
 井上哲次郎——哲学者 [1856-1944] 生誕160年  
 上田敏——詩人・評論家 [1874-1916] 没後100年  
 宇野千代——小説家・随筆家 [1897-1996] 没後20年  
 尾上柴舟——歌人・書家 [1876-1957] 生誕140年  
 木下順二——劇作家・評論家 [1914-2006] 没後10年  
 小金井喜美子——翻訳家・小説家 [1870-1956] 没後60年  
 小山正太郎——画家 [1857-1916] 没後100年  
 佐野利器——建築家 [1880-1956] 没後60年  
 島木赤彦——歌人 [1876-1926] 生誕140年  
 没後90年  
 武満徹——作曲家 [1930-1996] 没後20年  
 武田泰淳——小説家 [1912-1976] 没後40年  
 中條精一郎——建築家 [1868-1936] 没後80年  
 内藤鳴雪——俳人 [1847-1926] 没後90年  
 中村不折——画家・書家 [1866-1943] 生誕150年  
 夏目漱石——小説家 [1867-1916] 没後100年  
 樋口一葉——小説家 [1872-1896] 没後120年  
 平塚らいてう——思想家・評論家 [1886-1971] 生誕130年  
 星新一——小説家 [1926-1997] 生誕90年  
 松田権六——漆芸家 [1896-1986] 生誕120年  
 没後30年  
 村山槐多——画家 [1896-1919] 生誕120年  
 森志げ——小説家 [1880-1936] 没後80年  
 魯迅——小説家・翻訳家 [1881-1936] 没後80年



宮沢賢治 (1926年)  
林風舎提供

森鷗外をはじめとする、さまざまな分野の文化人が足跡を残した地・文京。  
 その代表的な文化人を顕彰し、文京区の多様な文化的資源を広く発信します。  
 今年度は、宮沢賢治(生誕120年)、高村光太郎(没後60年)・智恵子(生誕130年) 夫妻を中心に、  
 さまざまな顕彰事業を実施します。

## 文化資源担当室・文京ふるさと歴史館 事業案内・参加者募集

### 歴史講演会「宮沢賢治の弟、祖父・清六から聞いた賢治のこと」

賢治の作品が今もなお愛読されているのは、遺稿を守り、世に発表した弟・清六の功績といっても過言ではありません。祖父の遺志を継ぎ顕彰活動を行う講師による講演と、作品の朗読も行います。

日 時：平成28年11月12日(土) 14時～16時 講師：宮澤和樹氏(林風舎代表取締役)  
 会 場：文京区民センター3-A会議室(本郷4-15-4) 対象：高校生以上 定員：150人(抽選)  
 参加費：200円(当日の歴史館入館料が団体割引となります)  
 申 込：往復はがき(1枚2人まで)に「11/12歴史講演会」・全員の住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号と返信用にも宛先を明記し、文京ふるさと歴史館まで。締切は10月20日(木) 必着。

### 史跡めぐり「千駄木ゆかりの文人を訪ねて」

コース：森鷗外記念館、談話社発祥の地、高村光太郎アトリエ跡、高村光雲・豊旧居ほか  
 日 時：平成28年12月3日(土) 13時～16時(雨天決行)

ガイド：ふるさと歴史館友の会「文京まち案内」ボランティアガイド  
 対 象：高校生以上 定員：50人(抽選) 参加費：40円(保険料)  
 申 込：往復はがき(1枚2人まで)に「12月3日史跡めぐり」・全員の住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号、返信用にも宛先を明記し、文京ふるさと歴史館まで。締切は11月24日(木) 必着。

### 特別展「文京むかしむかし黎明篇—うみ・やま・ひとの物語—」

区内の遺跡の調査結果や文京ゆかりの考古学者の足跡について紹介します。

会 期：平成28年10月22日(土)～12月4日(日) 10時～17時  
 会 場：文京ふるさと歴史館 地下1階企画展示室 休館日：月曜  
 入館料：300円(20人以上の団体210円) 65歳以上・中学生以下・友の会会員は無料、身体障害者手帳等提示の方と介護者1人無料  
 ※11月3日(木・祝)は無料公開日。

問合せ：文京ふるさと歴史館 〒113-0033 東京都文京区本郷4-9-29  
 TEL 03-3818-7221

### 朗読コンテスト本選 観覧者募集 (主管：跡見学園女子大学)

一般の部・青少年の部合計16人が宮沢賢治作品を朗読、優秀者を選びます。あなたの1票で決まる「がんばったで賞」も設けました。

日 時：平成28年10月30日(日) 13:00～  
 会 場：跡見学園女子大学プロッサムホール(大塚1-5-2)  
 定 員：300人(抽選) 観覧料：無料  
 申 込：応募はがき又はFAX・メールに「朗読コンテスト観覧」・住所・氏名・希望人数を明記し下記へ。締切は9月24日(土)(以降は要問合せ)。

問合せ：跡見学園女子大学文京キャンパス事務室朗読コンテスト係  
 (〒112-8790 東京都文京区大塚1-5-2)  
 TEL 03-3941-7420 FAX 03-3941-8333 E-mail event@atomi.ac.jp

### その他関連事業(終了分)

#### ●森鷗外記念館

特別展「私がわたしであること—森家の女性たち 喜美子、志げ、茉莉、杏奴—」

会 期：平成28年4月9日(土)～6月26日(日)

ミニ企画展示「夏目漱石—「うつくしい本」への探求—」

会 期：平成28年7月1日(金)～9月25日(日)

#### ●(公財)文京アカデミー

アカデミア講座「智恵子はるか—高村光太郎・その愛と美—」

平成28年5月12、19、26日、6月2、9日 講師：榎本隆司(早稲田大学名誉教授)

平成28年度 文の京ゆかりの文化人顕彰事業

平成28年(2016)9月30日発行

編集・発行：文京区アカデミー推進部アカデミー推進課  
 文化資源担当室(文京ふるさと歴史館)  
 〒113-0033 東京都文京区本郷4-9-29 TEL 03-3818-7221  
 http://www.city.bunkyo.lg.jp/rekishikan/

印刷物番号 J0416025

## 文の京ゆかりの文化人顕彰事業 関連事業案内・参加者募集

### ●アカデミー推進課文化事業係

#### 平成28年度文京区企画展「賢治と光太郎—文の京で交錯する二人」

平成28年に宮沢賢治生誕120周年、高村光太郎没後60周年を迎えるのを記念して、ともに文京区にゆかりのある二人の生涯や作品、両者の関係を、作品や複製資料、解説パネルによって展示します。展示を通して、二人の意外なほど強い結びつきをご紹介します。

会 期：平成28年11月6日(日)～14日(月) 10時～18時(最終日のみ17時まで)  
 会 場：文京シビックセンター1階 アートサロン(春日1-16-21) 入場料：無料

#### 関連公開講座「宮沢賢治と高村光太郎—千駄木での出会いとその後の詩的交流」

宮沢賢治と高村光太郎が実際に会ったのは一度だけだったと言われていますが、両者はお互いにとって重要な存在でした。本公開講座では挽歌を中心に両詩人の作品を読み比べながら、二人の詩的交流の意味を講師に語っていただきます。

日 時：平成28年11月6日(日) 14時～16時(予定)  
 講 師：中里まき子氏(岩手大学人文社会科学部准教授)  
 会 場：文京シビックセンター26階 スカイホール(春日1-16-21)  
 対 象：区内在住・在勤・在学者 定員：100人(抽選) 参加費：無料  
 申 込：往復はがき(1枚2人まで)に「公開講座・賢治と光太郎」・全員の住所・氏名(ふりがな)、電話番号(在勤在学者は勤務先・学校名も)、返信用にも宛先を明記し、文化事業係まで。締切は10月7日(金) 必着。

問合せ：文京区アカデミー推進部アカデミー推進課文化事業係  
 〒112-8555 東京都文京区春日1-16-21 TEL 03-5803-1120

### ●(公財)文京アカデミー

#### シビックシアター☆トークショー

宮沢賢治の名作童話を劇場アニメ化した珠玉のファンタジー作品「銀河鉄道の夜」(1985年107分)を上映し、杉井ギサブロー監督のトークショーを行います。

日 時：11月25日(金) 13時30分～16時30分  
 会 場：文京シビックセンター地下1階多目的室(春日1-16-21)  
 対 象：区内在住・在勤・在学者(15歳以上、中学生を除く) 定員：100人(抽選)  
 参加費：無料  
 申 込：詳細は当財団広報紙「スクエア」10/5号、ホームページ(10/5以降)等でご確認ください。

問合せ：(公財)文京アカデミー学習推進係 〒112-0003 東京都文京区春日1-16-21  
 TEL 03-5803-1119 http://www.b-academy.jp/

### ●森鷗外記念館

#### 特別展「文して恋しく懐かしき君に—鷗外、[即興詩人]の10年—」

鷗外が翻訳に9年の歳月をかけた『即興詩人』の世界を、画家・安野光雅の描いた絵画作品とともに辿ります。翻訳作業に込められた、鷗外の心の旅をご覧ください。

会 期：平成28年10月1日(土)～12月4日(日) 10時～18時(最終入館17時30分)  
 休館日：10/25、11/22  
 観覧料：600円(20人以上の団体480円)  
 中学生以下・身体障害者手帳等の提示の方と介護者1人無料

■同時開催：文京ふるさと歴史館との連携ミニミニ企画  
 「坪井正五郎と森潤三郎」「帝室博物館時代の鷗外」に関する資料展示。

#### コレクション展「賀古鶴所展(仮称)」

鷗外が医学生時代に出会い、終生の友となった賀古鶴所との交友を紹介します。

会 期：平成28年12月9日(金)～平成29年1月29日(日)  
 10時～18時(最終入館17時30分)  
 休館日：12/29～1/3、1/24  
 観覧料：300円(20人以上の団体240円)  
 中学生以下・身体障害者手帳等の提示の方と介護者1人無料  
 ※1月19日(木・鷗外の誕生日)は無料公開日

■同時開催：ミニ企画展示 没後100年上田敏「鷗外と上田敏(仮)」

問合せ：文京区立森鷗外記念館  
 〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4 TEL 03-3824-5511

文の京  
ゆかりの  
文化人

明治29年、岩手県稗貫郡里川口村川口町（花巻市豊沢町）生まれ。県立盛岡中学校、盛岡高等農林学校農学科第二部を卒業。大正10年12月郡立稗貫農学校教諭。農業指導の傍ら、詩や童話を創作。大正10年の上京時に「月夜のでんしん柱」、「どんぐりと山猫」などの童話作品が書かれた。大正13年『春と修羅』、『注文の多い料理店』出版。昭和8年、急性肺炎のため花巻で逝去、37歳。

■宮沢賢治記念館  
岩手県花巻市矢沢第1地割1番地36 TEL 0198-31-2319

詩人・童話作家

「みやざわ・けんじ」(1896～1933)

# 宮沢賢治

生誕120年

## 宮沢賢治 文京とのゆかり

| 年     | 年齢          | 事項  |
|-------|-------------|---|
| 大正4年  | 1915 4月 19  | 妹トシ、日本女子大学校（目白台2）入学、責善寮に住む。   |
| 大正7年  | 1918 12月 22 | トシが東京帝国大学医学部附属病院小石川分院（永楽病院、目白台3）に入院、看病のため母イチと上京、小石川区雑司ヶ谷130（目白台3）雲台館に宿をとる。          |
| 大正8年  | 1919 1月 23  | 本郷区森川町1（本郷6）の求道学舎に近角常観を訪ねる。   |
|       | 3月          | トシとともに花巻に帰る。  |
| 大正10年 | 1921 3月 25  | 上京し、本郷区菊坂町75（本郷4）の稲垣方2階に間借り。本郷6丁目2（本郷5）の文信社に校正係として勤める。6月に執筆された作品「床屋」は傍題に「本郷菊坂町」とある。 |
|       | 8月          | 花巻に帰る。  |
| 大正11年 | 1922 12月 26 | 弟清六上京、本郷切通坂下・本郷区龍岡町（湯島4）に下宿。  |
| 大正12年 | 1923 1月 27  | 上京。龍岡町の下宿に清六を訪ね、大トランクに詰めた童話原稿を出版社へ持参するように言う。  |
| 大正15年 | 1926 12月 30 | 上京。本郷区千駄木林町（千駄木5）に高村光太郎を訪ねる。  |
| 昭和3年  | 1928 6月 32  | 上京時、本郷区春木町（本郷3）の本郷座で観劇か。  |



稲垣家（1990年頃解体）館蔵



賢治（1924年）  
林風舎提供

## 賢治と光太郎

光太郎が13歳年長。大正15年、賢治が光太郎のアトリエを訪問したのが生前唯一の交流。光太郎は草野心平の紹介で賢治の『春と修羅』、『注文の多い料理店』を読み、友人に勧めるなど高く評価していた。昭和9年の賢治全集出版の際には、賢治の弟・清六らとともに編者となり、装丁も担当。そうした縁もあり、昭和20年には清六を頼って宮沢家へ疎開している。



雲台館 藤田三男編集事務所提供

文京の  
文化の  
ゆかり



光太郎 光雲遷居記念像（1911年完成）の前で  
高村達氏提供

彫刻家・詩人

「たかむら・こうたろう」(1883～1956)

# 高村光太郎

没後60年



智恵子(26歳) 高村達氏提供

画家・紙絵作家

「たかむら・ちえこ」(1886～1938)

# 高村智恵子

生誕130年

明治16年、木彫師・高村光雲の長男として下谷区西町（台東区上野）に生まれる。東京美術学校本科彫刻科卒業、研究科に進み、洋画科に再入学。欧米より帰国し、詩・美術制作両面にわたる活動を展開。空襲でアトリエが焼失し、花巻の宮沢清六方に疎開、花巻郊外の太田村山口の小屋で農耕自炊生活。昭和27年、帰郷して住んだ中野区桃園町の故中西利雄アトリエにて、昭和31年、73歳で逝去。詩集『道程』、『智恵子抄』、彫刻「手」、「十和田裸婦像」など。

■高村光太郎記念館  
岩手県花巻市太田第3地割85番地1 TEL 0198-28-3012

明治19年、福島県安達郡（二本松市）生まれ。旧姓長沼。日本女子大学校を卒業し、洋画家を志し太平洋画会研究所に通う。平塚らいてうらが創刊した雑誌『青鞥』の表紙絵を描く。高村光太郎と結婚、その後実家の破産などもあり、精神異状の徴候が現れる。ゼームス坂病院（品川区）に入院中、紙絵の制作を行う。昭和13年、52歳で逝去。

■智恵子の生家・智恵子記念館  
福島県二本松市油井字漆原町36 TEL 0243-22-6151

アトリエ  
高村達氏提供



## 高村光太郎・智恵子 文京とのゆかり

| 年     | 年齢             | 事項   |
|-------|----------------|--|
| 明治25年 | 1892 11月 9 6   | 光雲一家、本郷区駒込千駄木林町115（千駄木5）に移る。   |
| 明治29年 | 1896 4月 13 9   | 本郷区本郷森川町1（本郷6）の共立美術学館に入る。翌年卒業。                                       |
| 明治31年 | 1898 15 12     | 東京美術学校時代、森鷗外の美学の授業などを受ける。  |
| 明治35年 | 1902 12月 19 16 | 父が3月に造った彫刻室が焼失、光太郎の作品、書籍等も焼ける。                                       |
| 明治36年 | 1903 4月 20 17  | 日本女子大学校（目白台2）普通予科に入学。翌年家政科に進学。                                       |
| 明治40年 | 1907 4月 24 21  | 日本女子大学校を卒業、小石川区小日向台町1-4（小日向2）楓寮に住む。                                  |
| 明治42年 | 春              | 本郷区駒込動坂町109（本駒込4）の日本画家・夏目利政方に移る。                                     |
|       | 4月 26 22       | 日本女子大同窓生の組織・桜楓会の雑誌『家庭』にカットを描く。<br>光雲邸の庭にあった祖父の隠居所をアトリエに改造し、彫刻、絵画を制作。 |
| 明治44年 | 1911 9月 28 25  | 雑誌『青鞥』創刊号の表紙絵を描く。  |
| 明治45年 | 1912 6月 29 26  | 父の家に近い駒込林町25（千駄木5）に自ら設計したアトリエが完成、独居。                                 |
| 大正3年  | 8月 31 28       | 桜楓会『家庭週報』に詩「無題録」を発表。   |
|       | 12月            | 智恵子とアトリエでの生活を始める。  |
| 大正8年  | 1919 2月 35 32  | 日本女子大第1回生の発議で、校長・成瀬仁蔵の胸像制作を委嘱され、病床の成瀬を見舞う。                           |
| 昭和8年  | 1933 4月 50 46  | 「成瀬仁蔵胸像」が完成、除幕。  |
| 昭和9年  | 1934 10月 51 48 | 本郷・文圃堂刊行『宮沢賢治全集』全3巻の装丁を手がけ、編者の一人となる。                                 |
| 昭和20年 | 1945 4月 62     | アトリエが空襲で焼失、多くの作品原型を失う。   |

□ 光太郎 □ 智恵子